

UTILIT4x_WINについて

【インストールとアンインストール】

CD に収録されている「UTILIT4x_WIN_SetUp.exe」を実行し、表示されるメッセージに従ってインストールしてください。デスクトップ上の「UTILIT4x_WIN」のアイコンをクリックすると、起動できます。

アンインストールはコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から行ってください。

【メイン画面】

UTILIT4x_WIN を起動すると、メイン画面が表示されます。

スキャナ選択

- ・「開始待ち」になっているボタンをクリックして、スキャナを接続します。
- ・ポート名が表示されているボタンはスキャナ接続中です。
- ・ポート名が太字になっているスキャナにイメージングコマンドが送信されます。

ターミナル画面起動時設定
ターミナル画面の起動時、最小化して表示する場合はチェックします。

コマンド選択
設定・送信するコマンドを選択します。

コマンド実行
送信するコマンドのオプションを指定します。入力枠の右の数字は入力可能範囲、カッコ内は初期値です。「実行」をクリックすると選択しているスキャナにコマンドが送信されます

スキャナ選択ボタンは、スキャナとの接続・選択状態によって、表示が異なります。

ボタンの表示と状態およびクリックした時の動作は下の表を参照してください。

表 示	状 態	クリックした時の動作
開始待ち 	スキャナ未接続 ・スキャナを接続できます。	スキャナの接続 ・通信設定画面が表示されます ・ターミナル画面が表示されます ・ポート名(太字)表示になります
ポート名(細字) 	スキャナ接続中	スキャナの選択 ・コマンドの送信対象になります ・ポート名(太字)になります
ポート名(太字) 	スキャナ接続中・選択中 ・イメージングコマンドの送信対象です	ターミナル画面の前面表示

【通信設定画面】

「開始待ち」と表示されているボタンをクリックすると、通信設定画面が表示されます。スキャナと一致するように設定し、「通信開始」をクリックしてください。

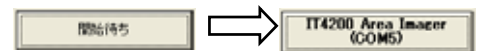
ご注意ください！

イメージデータの受信を行う場合、ハンドシェイクには「なし」または「RTS / CTS」を指定してください。



正常に通信が開始された場合

- ・スキャナ選択ボタンの表示が、選択したポート名に変わります。
- ・ターミナル画面が表示されます。



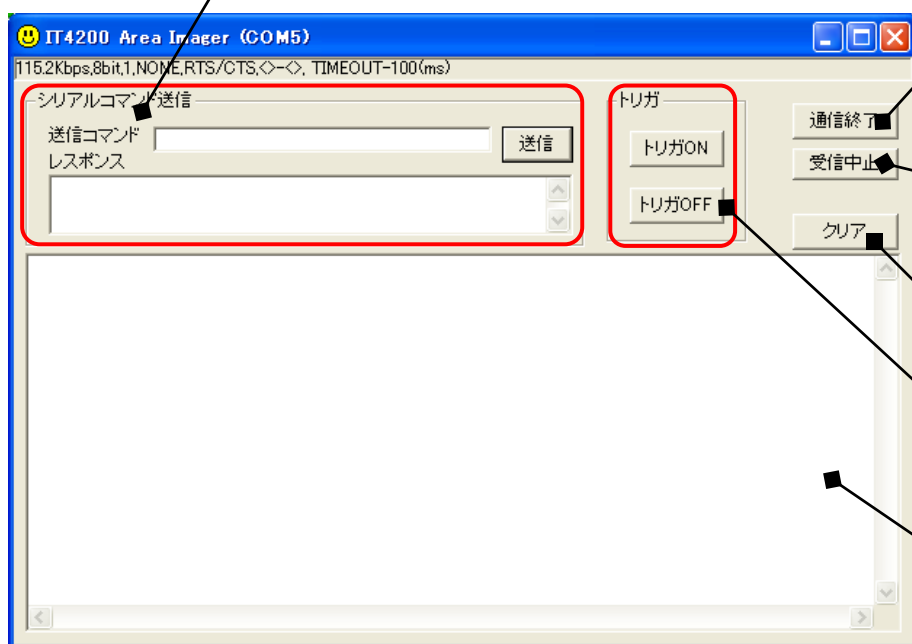
「ターミナル画面起動時最小化」が指定されている場合は、最小化した状態で表示されます。

【ターミナル画面】

スキャナごとに専用のターミナル画面が表示されます。

シリアルコマンド送信

- ・送信するコマンドを「送信コマンド」枠に入力して、「送信」をクリックしてください。
- ・コマンドの実行結果は、「レスポンス」枠に表示されます。



通信終了

スキャナとの接続を切断し、ターミナル画面を終了します

受信中止

実行している受信を中止します

クリア

データ表示枠をクリアします

トリガ

スキャナのトリガの ON/OFF を操作します。

データ表示

スキャナで読み込んだバーコードデータが表示されます。

ご注意ください！

- ・イメージの受信プロトコルは「2P プロトコルなし(USB のデフォルト)」にのみ対応しています。
- ・イメージデータ受信中は、通信終了(切断)できません
- ・通信エラーが発生した場合、レスポンスやデータ表示枠に不要なデータが表示される場合があります。

【撮影 (IMGSNP)】

スキャナで画像を撮影するために、IMGSNP コマンドを送信します。

「実行」・・・IMGSNP コマンドの送信

「元に戻す」・・・以前に実行した値を表示

撮影した画像は「画像受信 (IMGSHF)」で PC に取り込みます。



【画像受信 (IMGSHF)】

「撮影 (IMGSNP)」で撮影した画像を PC に取り込むために、IMGSHF コマンドを送信し、画像データを受信します。

「実行」・・・IMGSHF コマンドの送信

「元に戻す」・・・以前に実行した値を表示

受信したデータは「保存ファイル名」で指定されたファイルに保存されます。

指定がない場合、UTILIT4Image1 で保存



【サインキャプチャ (IMGBOX)】

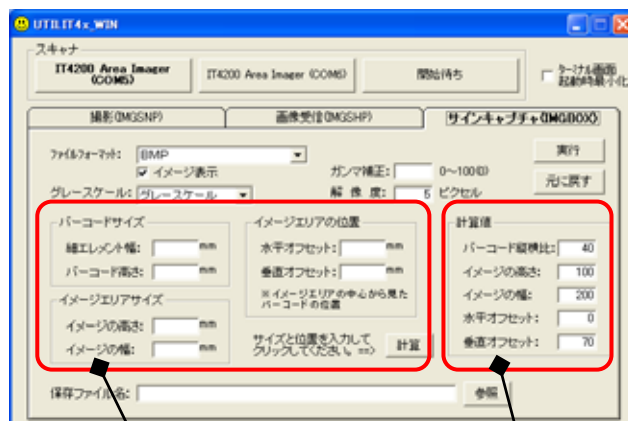
バーコードの近くにある署名を取り込む場合などに使用する IMGBOX コマンドを送信し、画像を受信します。

「実行」・・・IMGBOX コマンドの送信

「元に戻す」・・・以前に実行した値を表示

受信したデータは「保存ファイル名」で指定されたファイルに保存されます。

指定がない場合、UTILIT4xImage1 で保存



実測値入力・計算

計算値入力

IMGBOX コマンドで指定するサイズは、全てバーコードの細エレメントサイズが基準ですが、UTILIT4x_WIN では2種類の方法でサイズを指定することができます。

・実測値 (mm) を入力して計算する場合

「バーコードサイズ」「イメージエリアサイズ」「イメージエリアの位置」に各々の数値を入力して、「計算」ボタンをクリックしてください。「計算値」の枠内に計算結果が表示されます。

・細エレメントを基準にした値を入力する場合

細エレメントサイズを基準にして計算した値を、「計算値」の枠内の各項目に入力してください。

ご注意ください！

- 指定した数値がイメージの範囲外の場合、パラメータエラーとなります。
- 解像度に大きな値を指定すると通信エラー等の異常が発生する場合があります。